

Power of Choice 基金

応募要項

応募期間：2022年1月21日（金）～2022年2月28日（月）

主催：株式会社トラストバンク

協力：公益財団法人パブリックリソース財団

1. 目的

株式会社トラストバンクが運営する「ふるさとチョイス」を利用して、「Power of Choice project -私たちの選択が、地域事業者の力になる-」*の主旨に賛同いただいた寄付者の皆様とともに基金を創設し、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の継続に困難を生じた事業者（企業、社会福祉法人、NPO等）が持続可能な地域社会構築に向けて、地域の経済や課題解決に取り組む新たなチャレンジを応援することを目的とします。

*「Power of Choice project -私たちの選択が、地域事業者の力になる-」特設ページ

<https://www.furusato-tax.jp/contents/power-of-choice/>

2. 支援の内容

当基金は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の継続に困難を生じた事業者（企業、社会福祉法人、NPO等）が、持続可能な地域社会構築に向けて地域の経済や課題解決に取り組む新たなチャレンジに必要な資金を支援します。

➤ 支援金額：300万円～800万円/応募

※1事業者当たり1応募となります。

※応募の事業活動の内容等を勘案して、希望助成額を変更して採択することがあります。

※支援金の使途は、申請する事業活動に伴う費用であれば、特に制限はありません。ただし、活用内容について基金への報告義務があります。

➤ 支援対象事業者の想定採択数：5件程度

※応募状況により支援対象事業者数は変動することがあります。

※支援対象事業者の地域バランスを考慮することがあります。

➤ 支援対象事業・活動の期間：支援決定時から2023年3月31日までの間

※事業・活動は既に開始されていても結構ですが、支援金を使える対象経費（支払い）は支援決定時以降のものに限ります。

➤ 支援対象となる事業活動例

- ✓ 地域活性化や地産地消に資する新たな特産品開発事業
- ✓ 地域経済の活性化に資する新たな販路開拓事業
- ✓ 地域経済の活性化や雇用促進に資する観光コンテンツ組成事業
- ✓ 地産地消に資する新たな再生エネルギーの推進事業
- ✓ 障がいのある社員、女性社員、シングルマザー、若者等の新たな雇用や雇用継続に向けた福祉×他産業の開発事業

3. 支援対象

- 営利・非営利問わず法人格を有すること

※国、地方自治体、宗教法人、個人、法人格のない任意団体は除く。

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の継続に困難を生じた事業者（企業、社会福祉法人、NPO等）

4. 応募要件（次の要件をすべて満たすこと）

- 法人格：営利・非営利問わず法人格を有している。
- 活動実績：2021年12月末時点で3年以上の活動実績がある。
※創業・団体設立が2018年（平成30年）12月以前である。
- 活動地域：団体の所在地が日本国内であり、今回の申請事業の対象地域が日本国内である。
- 新型コロナウイルス感染症の影響
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症の流行に関わって、2020年2月～応募時までの間で少なくとも1か月の事業収入（売上）が2019年同月または2019年度の月平均に比べて減少している。
- 情報発信及び報告
 - ✓ 支援対象となった場合、団体名や事業活動内容を公表されることを了承する。
 - ✓ 支援開始後に、インタビュー、写真・動画の提供、プロモーション活動への協力をお願いした際に、これに協力する。また、基金からの要請を受け活動報告会等への出席をお願いした際に、これに協力する。
 - ✓ 後日、支援金の活用状況や活動の状況について中間・最終の報告書を提出する。
- その他
 - ✓ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する「性風俗関連特殊営業」、当該営業に係る「接客業務受託営業」を行う事業者には該当しない。
 - ✓ 反社会的勢力（暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者をいう）には該当しない。
 - ✓ 特定の政治・宗教団体に該当しない。
 - ✓ ネットワークビジネス、マルチ商法、宗教、保険、同業者による勧誘などを目的としていない。
 - ✓ 過去3年間の間に団体の役員が禁固以上の判決を受けていない。

5. 審査方法

① 書面による一次審査

第三者の専門家による公平・中立な審査委員会を設置し、書面による審査を行います。

※必要に応じて事務局による電話、メール等によるヒアリングをさせていただく場合があります。

② 面談による二次審査（オンライン）

一次審査を通過した法人・団体には、申請いただいた事業についてプレゼンテーションを行なっていただき、審査委員との質疑応答を実施する二次審査を行います。

③ 審査結果の通知・公表

審査の結果（採択・不採択）の通知は、メールにて通知します。また、採択された団体名および事業活動の内容、支援金額等は、株式会社トラストバンクの Web サイトで公表します。

※採否の理由などに関するお問い合わせには一切応じかねます。

6. 審査基準

- 適切な組織運営がなされているか
- 適切な情報公開が行われているか
- 影響力（発展可能性）：他地域への発展が期待できる事業であること
- 先駆性（チャレンジ性）：新たなチャレンジとなる事業であること
- 緊急性：コロナ禍での被害を定性的に説明でき、定量的に証明できること
- 社会・地域への貢献性：関わる地域における課題解決につながる活動であること
- 事業計画の実現可能性：スケジュール、体制、予算がしっかりと計画されていること

7. 応募手続き

- 応募期間：2022年1月21日（金）～2022年2月28日（月）17：00まで
- 応募方法・手順
 - ① トラストバンク コーポレートサイト内お知らせ「Power of Choice 基金の応募受付を開始」ページ*より、所定の応募様式をダウンロードしてください。
 - ② 上記ページ内の応募用フォームから応募内容の登録と提出資料をアップロードしてください。

*トラストバンク コーポレートサイト内お知らせ「Power of Choice 基金の応募受付を開始」ページ
<https://www.trustbank.co.jp/newsroom/news/news220121/>

※郵送やメールでの応募は受付対象外となります。必ず応募用フォームからご応募ください。

➤ 応募に関する問い合わせ先

応募に関してのお問い合わせは、必ずトラストバンク コーポレートサイト内お知らせ「Power of Choice 基金の応募受付を開始」ページの問い合わせフォームからお問い合わせください。

※電話、メール、面談によるお問い合わせはお受けできません。

- ✓ お問合せの締切：2022年2月28日（月）12：00まで
※これ以降のお問い合わせは対応できませんので、ご了承ください。
- ✓ 個人情報の取り扱いについて：以下をご確認ください。
 - 【主催】株式会社トラストバンク Privacy policy
<https://www.trustbank.co.jp/policy/>
 - 【協力】公益財団法人パブリックリソース財団 個人情報保護方針
<http://www.public.or.jp/PRF/privacy/>

8. スケジュール

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 2022年1月21日（金）～2月28日（月） | 公募 |
| 2022年3月1日（火）～5月13日（金） | 審査 |
| 2022年5月16日（月）以降 | 審査結果通知開始 |
| 2022年5月23日（月）以降 | 支援金振り込み開始 |
| 2022年5月23日（月）以降～2023年3月31日（金） | 対象事業の実施 |

※上記スケジュールに変更が生じる場合があります。

※支援対象事業活動について、2022年9月に中間報告書、支援事業活動終了の2023年4月以降1か月以内に最終報告書を提出いただきます。

9. 手続き等

- 支援決定後、応募者と株式会社トラストバンクは「覚書」を取り交わし、所定の手続きを経て助成をします。支援金は、上記の手続き完了後に振り込みます。
- 支援対象となった場合、団体名および事業活動内容を株式会社トラストバンクのWebサイト等にて公開します。また、支援開始後、株式会社トラストバンクより、インタビューや写真・動画の提供をお願いすることがありますので、ご協力ください。
- 株式会社トラストバンクからの支援金は、寄付金として、交付します。贈与に当たる寄付金でありますため、支援金の使途については、申請する事業活動に伴う費用であれば、特に制限はありません。ただし、活用内容について株式会社トラストバンクへの報告義務はあります。
- 支援金の活用状況や活動の状況について2022年9月に中間報告書、助成事業活動終了の2023年4月以降1か月以内に最終報告書を、協力先の公益財団法人パブリックリソース財団に提出いただきます。

以上